

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書

団体名	てらこみーる実行委員会
-----	-------------

取組の名称	食事付寺子屋「てらこみーる」(だれでも食堂)
実施場所	「メサ・グランデ」川崎市中原区新城5-12-13
対象地域	川崎市中原区及び高津区周辺等
対象地域の特色・課題	対象地域は、明らかな貧困家庭は多くないものの、いわゆる核家族家庭が多いことから、家族が多忙で家庭の中で孤独を抱えている子どもらが少なからず存在していたり、日々の暮らしに追われ家庭外での交流が難しく家庭そのものが地域の中で孤立している状況があるものと思われる。
取組の趣旨・目的	本取組は、家庭の貧困や保護者等の力量的限界により孤独を抱える子どもたちに対する無料の学習サポートに加えて、心をゆたかにする季節感を取り入れた無料の美味しい食事を提供し、季節開催又は不定期開催による体験型ワークショップ等の能動的な活動の充実を図ること、寺子屋講師や調理のボランティア等のサポーターのみならず、寺子屋や食事に参加する参加者(大人を含む)全員が相互に主体となって、地域に根付いて家庭や地域の機能を補完することを目的としている。
実施内容・実施スケジュール	<p>平成29年2月19日の開始時以降、令和2年2月までに全25回、原則として毎月第3日曜日に、中原区新城所在のコミュニティ・カフェ「メサ・グランデ」において開催されている。</p> <p>「てらこみーる」とは、「寺子屋」と「ミール(食事)」を合わせた造語であり、調理の時間帯に並行して開催される「寺子屋タイム」では、宿題等を持参する子どもたちにボランティアが無料で学習のサポートをし、お昼時に開催される「ミール(食事)タイム」では、野菜ソムリエが考案したレシピに基づき、18歳以下の子どもに対してはすべて無料で、大人は1名につき500円で、季節感のある</p>

	<p>美味しい食事を提供している。</p> <p>「てらこみーる」に参加する子どもたちは、思い思いに、学習や工作をしたり、調理を体験したり、テーブルごとに寺子屋講師とともに「いただきます」をするなどして楽しんでいる。なお、大人だけ、食事だけの参加も可能である。</p>		
参加者の年代	乳幼児～高齢者	定員 (1回あたり)	おおむね35名
実施頻度	毎月1回 (第3日曜日)	活動日数 (年間)	11日
スタッフ体制	毎回平均6～10名参加(2019年度実績)		
連携する団体・ 連携の手法	<p>中原区所在のコミュニティ・カフェであり地域活動支援センターでもある「メサ・グランデ」(NPO法人ぐらす・かわさき)により、場所、食材の提供及び「てらこみーる」共催者としての関与を受けている。また、「ビーバーリンク@武蔵新城」(共催:NPO法人神奈川セカンドリーグ及びNPO法人ぐらす・かわさき)に協力参加し寄付品等提供を受けているほか、「川崎市子ども食堂ネットワーク」事務局にも参加してその運営を担っている。</p>		
取組実施により 見込まれた効果	<p>本取組は、「ミール(食事)」タイムに、子どもたちには無料で、大人には安価で美味しい食事を提供するだけでなく、「寺子屋タイム」の存在により、社会に多様な大人が存在したり、様々な社会人としての姿があることを認識しつつ、地域の大人等と接する居場所を提供している。</p> <p>また、開催日程を、日常の生活に追われる平日ではなく、週末に設定したことにより、子どもたちあるいは子どもたちと一緒に参加する保護者等も普段とは違った余裕のある時間を過ごすことが可能となる。</p> <p>さらに、「寺子屋タイム」を設けることにより、講師や参加者同士がひとつのテーブルを囲んで「いただきます」をすることが可能となっており、参加する大人と子どもたちのより濃密な関係性を築くことができている。</p>		